

2026年度 九山G会 鹿児島県開催

2026年7月23日（木）、鹿児島県漁業協同組合連合会「市場食堂」2階において、2026年度「九山G会」が開催されました。

九山G会は、JF全漁連を事務局として、山口県から沖縄県までの各県漁連・漁協において購買事業を担当する職員が一堂に会し、情報交換や意見交換を行う会議で、毎年各県持ち回りで開催されています。昨年度は宮崎県で開催され、今年度は鹿児島県が開催県となりました。

当日は、各県の担当者から、前年度の購買事業実績や本年度の事業計画をはじめ、各地域における漁業の現状や抱えている課題等について報告が行われました。また、それぞれの地域における取組や課題について活発な意見交換が行われ、今後の購買事業のあり方について認識を共有しました。

会議の冒頭には、開催県を代表して鹿児島県漁連の宮内専務理事より挨拶があり、参加者を歓迎するとともに、会議の有意義な開催を祈念しました。会議終了後には懇親会も開催され、各県担当者同士が親睦を深めるとともに、日頃の業務や各地域の漁業情勢について情報交換を行いました。

近年、漁業者の減少や高齢化をはじめ、燃油・漁業資材価格の高騰など、各県が抱える課題は年々多様化・深刻化しており、これらは各県漁連・漁協に共通する重要な課題となっています。

今後、漁業者が安心して漁業を営むことができる環境を維持するためにも、燃油・漁業資材の安定供給と価格抑制に努めるとともに、JF全漁連をはじめ、各県漁連・漁協との連携をより一層強化していくことが重要です。

今回の九山G会で得られた各県の情報や意見を今後の事業運営に活かし、関係機関との連携を深めながら、漁業者の皆様の負託に応えられる購買事業の推進に努めてまいります。

なお、2027年度の九山G会は、熊本県での開催を予定しています。

